



# 平成30年回収実績

平成30年は、全回収量が約10,777トン、申請団体数が470団体となり、昨年より10団体増加しました。また、回収量は前年と比較して、約400トン減少しております。

品目別では、雑誌類・古布・アルミ缶回収量が増加しましたが、その他の品目では回収量が減少しています。資源の有効な利用の促進に今後ともご協力ください。

対象品目	平成29年	平成30年	伸率
新聞	6,640	6,159	△ 7.2
雑誌類	1,919	1,962	2.2
ダンボール	1,701	1,676	△ 1.5
古布	613	678	10.6
紙パック	154	145	△ 5.8
アルミ缶	145	152	4.8
リターナブルびん	6	4	△ 33.3
合計	11,178	10,777	△ 3.6
申請団体数	460	470	

※ 回収量の単位はトン、小数点第1位を四捨五入。また、四捨五入の結果により、品目ごとの回収量と合計が一致しない場合があります。



## 奨励金の申請について

**申請時期** 1月～6月 回収分 → 7月中旬に  
7月～12月 回収分 → 翌年1月中旬に

～◇ 申請前に☑チェックしてご確認を！◇～

～東大阪市再生資源集団回収奨励金交付申請書～

～再生資源集団回収仕切伝票～

- 代表者の印鑑は鮮明に！捺印も押してください。
- 団体控、市提出用、業者控の3枚複写になっています。申請の際は市提出用を添付してください。
- 振込口座は正確に！特に口座名義に団体名が入っている場合は、すべて記入してください。フリガナも必ず必要です。
- 業者印漏れがないか確認を！印鑑が漏れている場合は受付できません。
- 口座名義が代表者と異なる場合や、個人名義のものは委任状が必要です。
- 訂正の際は業者印が必要！団体の代表者印では訂正できません。

1年以上継続して奨励金の交付申請をされていない団体につきましては、申請する意思がないものとみなし、今後申請書類等は送付しませんので、ご注意ください。

前回は、集団回収の持ち去りに関するアンケート結果について特集しました。今回は、平成31年4月1日発行のごみの分け方・出し方について、裏面には集団回収実施団体の取材の報告及び環境教育出前講座について掲載しております。毎年減少傾向にある集団回収量を増加するために今後も取り組みを進めて参ります。また、次回以降も取材記事の掲載を続ける予定ですので、「こんなことが知りたい！」「うちの取組を紹介してほしい！」といった声があれば是非ご連絡ください。



【東大阪市版】

# 集団回収エコだより



集団回収実施団体の取材報告と  
環境教育出前講座について

発行：東大阪市再生資源  
集団回収推進協議会  
会長 村田俊明



(事務局：環境部循環社会推進課)  
〒577-8521  
東大阪市荒本北1丁目1番1号  
【TEL】06-4309-3199(直通)  
【FAX】06-4309-3818  
【E-mail】junkanshakai@city.higashiosaka.lg.jp  
【ウェブサイト(集団回収)】  
<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000007784.html>

東大阪市 循環社会推進課 検索



## 集団回収の活性化に向けて

### ごみの分け方・出し方

平成31年4月1日発行のごみの分け方・出し方(P9.10)で集団回収で回収している主な品目と一般的な出し方について掲載しているほか、平成29年から雑誌類の分類で品目追加した雑がみについて詳細に掲載していますので、ぜひご覧ください！(下記一部ご紹介します)

#### 【雑がみってこんなもの】

- ・食品やティッシュなどの紙箱
- ・包装紙や紙袋
- ・ポスターやチラシ、カレンダー など

#### 【雑がみではないもの】

- ・カップ麺やヨーグルトの容器、ふた
- ・汚れやにおいがついたもの
- ・写真やレシート、複写紙 など

※回収品目、排出方法は各団体・回収業者によって異なる場合がありますので、各団体で決められたルールに従って品目ごとに排出してください。

### 回収量の目標

平成28年3月に策定しました「東大阪市一般廃棄物処理基本計画」のなかで、集団回収量の目標値を以下のように設定しました。

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
実績	13,885トン	13,362トン	12,160トン	11,178トン	10,777トン	
目標	13,885トン	13,341トン	14,424トン	14,614トン	14,798トン	15,232トン
目標値まで	-	779トン	2,264トン	3,436トン	4,021トン	-

市内の集団回収量は減少傾向にあり、平成26年度から前年度と比べて平均約6%減少しています。

目標達成には30年度実績では1世帯あたり1ヶ月約1,400gの回収量の増加が必要です。家庭ごみに排出されている紙類を減らし、集団回収での排出にご協力をお願いします。



## ～取材に行ってきました！～

役員の方にご協力いただき、古箕輪子供会さんの集団回収の様子を取材させていただきました。当日はあいにくの天候でしたが、団体役員のみなさまは精力的に活動されており、回収場所にはたくさんの資源が集められていました。

こちらの団体では、「子供会回収品」と書かれた張り紙を資源に貼付し、持ち去り防止策に取り組んでおられました。

他にも、あんな取組み・こんな取組み、ご紹介させていただきますので、ぜひご連絡ください！

以下、取材報告です。

- 取材団体 古箕輪子供会
- 取材日 平成31年3月19日(火)
- 主な活動地域 古箕輪、東鴻池町、新鴻池町
- 回収品目 新聞、雑誌類、ダンボール、古布
- 排出方法 指定の回収場所に排出(ステーション収集)
- 取組み
  - 子供会役員が排出物に持ち去り禁止のため、「子供会回収品」と書かれた張り紙を貼付
  - 回収日当日の8:30～古箕輪自治会館にて町内放送  
「本日は古紙回収日です。9:00までに子供会回収品と記入の上所定の場所にお出しいただくようお願いいたします。」
  - 半年ごとに回収日を記載した紙をラミネートし、掲示板に掲示。また、その紙を子供会会員に配布。
- 抱負 「子供会の役員をするまでは古紙を家庭ごみに捨ててしまっていたが、今は出来るだけ多くリサイクルしようと考えている。この活動が広がってほしい。」



(「子供会回収品」と書かれた紙を貼っている様子)



(排出場所の様子)

## 環境教育出前講座について

東大阪市環境部では、環境教育出前講座を実施しています。

メニューのひとつに「ごみの分け方・出し方教室 ～雑がみ・資源をリサイクルしよう～」として、日常生活で発生する紙のリサイクルをはじめとする、資源ごみや家庭ごみの分別についての講座があります。

「これも雑がみに出せるの?」「これは何ごみに出せばいいの?」といった疑問にもお答えさせていただきますので、ぜひご活用ください。

その他にも多数メニューをご用意しておりますので、詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。循環社会推進課までお問い合わせください。

東大阪市 環境教育出前講座

検索



### 東大阪市環境教育出前講座メニュー



6	ごみの分け方・出し方教室 ～雑がみ・資源をリサイクルしよう～
時間	30分程度(要相談)
対象	一般 等
ねらい	「雑がみ」とはどんなものか?日常生活で発生する紙のリサイクルを学ぶ。 また、何曜日が何のごみの日なのか?どうやって出せばいいのか?危ないごみの出し方など、正しいごみの出し方を学ぶ。
講座概要	1. ごみ・資源の種類の説明 2. 自分の家のごみを出す日が何曜日なのかを調べる 3. 雑がみ袋を使って雑がみの分別方法を説明 4. ごみの分別クイズ
実施場所	教室・屋内
準備物	なし
備考	

